

特定非営利活動法人 草加市カヌー協会

草加パドラーズ

★草加パドラーズ事務局 info@soka-paddlers.com

**ゴミを沢山入れた状態で沈してしまった！
どうなる？（沈脱の実験です）**



今日は、間宮さん、林さん、他団体のイベントに参加して、沈脱練習をしてくださいました、



ゴミを沢山入れた状態で沈してしまった場合、どうなるかという実験をしてくださいました。

抜け出すことができませんでした。

レク艇やシットオンタイプの艇は乗り口にゆとりがありますが、スラローム艇は狭いので、より危険となりますね。

今できること！！



万が一、沈した人がいたら、笛を吹いて危険を全体に知らせる！

水中の状態は見えませんが、水面下ではゴミを少しずつ掻き出しています。

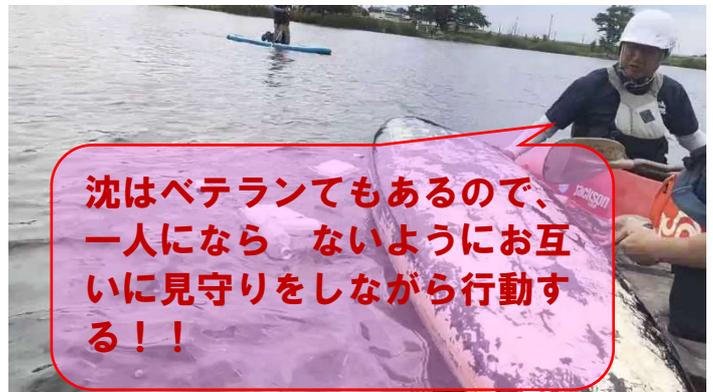
途中でゴミ袋ごと引っ張って見ましたが、引っかかって出てきませんでした。

少しの量のゴミでしたら沈しても脱出できるかもしれませんが、たくさん入れてしまうと、まず出られません。

(動画あり)

①スラローム艇は、できるだけゴミを中に入れず、艇の上に乗せるようにする。特に大きなゴミは危険。

②艇にゴミが少し貯まってきたら、母船に移す。



沈はベテランでもあるので、一人にならないようにお互いに見守りをしながら行動する！！

万が一、沈した人がいたら、笛を吹いて危険を全体に知らせる！



沈はベテランでもあるので、一人にならないようにお互いに見守りをしながら行動する！！

冬の沈は、非常に危険！！！！
十分に注意！！！！

ゴミが無い場合は無事に脱出出来ました。

沈脱の様子 ??